

第5学年〇組 外国語活動学習指導案

指導者

ALT

1 単元名 Alphabet アルファベットで文字遊びをしよう

2 単元について

(1) 児童の実態

<省略>

(2) 教材観

新学習指導要領「外国語」では、新たに「読むこと、書くこと」が目標として入ってきた。本単元はまさにその目標達成の基礎となる、文字の学習である。児童は、1学期に「What do you want?」の単元でアルファベットの大文字を学習した。その際には、町に隠された大文字を探したり、教室の中にある大文字を見つけたり、友だちとのペア活動で大文字のカード集めを行ったりして、大文字を題材にした活動を経験している。本単元ではそのような経験も踏まえ、身の回りにある看板や表示から小文字を探したり、大文字と比較して小文字に慣れ親しんだりする。そして、単元最後には、大文字の学習の時と同様、教室の中から小文字を探し出し、身近には大文字以上にたくさんの小文字が溢れていることに気付かせていきたい。

(3) 指導観

新学習指導要領「外国語」の目標では、大文字及び小文字を正しく書き分けること、音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにすることが示されている。しかし、これは5・6年を通しての目標であり、これから少しずつ定着させていくものである。児童は初めての文字指導に混乱することもあるだろう。文字の指導に当たっては、文字の高さを意識させたり、紛らわしい形を意識させたりするなど、大文字・小文字の特徴を捉えて指導する必要がある。本単元でも文字指導は行うが、まずは文字の読み方に慣れ親しませていくことが大切である。そこで、身の回りにはたくさんの小文字が存在していることに気付かせたり、友だちとのクイズを通して表現したりしていく機会を多くとり、「書くこと」への前段階の慣れ親しみの時間を多く取って、文字指導へのスムーズな移行ができるようにしていきたい。

3 「学力向上プラン」とのかかわり

児童が主体的に取り組める授業を実践するために、児童の発達段階を考慮した表現を用いながら、児童にとって身近なコミュニケーションの場を設定する。

4 目指す児童像『自ら考え、進んでかかわろうとする児童の育成』とのかかわり

児童一人一人が自ら意欲的に取り組めるような活動を設定し、児童同士でのかかわりをもてるように工夫する。本単元では、自分の身の回りの活字体を見つけ、たくさんの活字体で表されていることに気付かせ、ペア学習でお互いに伝え合うことで、他者にはたらきかける活動を設ける。

5 本単元の目標

- ・身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気付き、活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。(知識及び技能)
- ・身の回りにあるアルファベットの文字クイズを出したり答えたりする。(思考力、判断力、表現力等)
- ・相手に配慮しながら、アルファベット文字について伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)

6 関連する学習指導要領における領域別目標

話すこと (やり取り)	ウ 自分や相手のこと及び身の回りのものに関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問したり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。
読むこと	ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。
書くこと	ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。

7 単元計画

時	目標 (◆) と主な活動 (【】、○) 【】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点 (方法)
1	<p>◆活字体には小文字もあることに気付き、活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。</p> <p>○ABC song ・音楽に合わせて歌う。</p> <p>○大文字・フォニックスの復習 ・1学期に学習した大文字とフォニックスの復習をする。</p> <p>○小文字の導入</p> <p>○ABC arranging ・個人で行う。カードを順番に並べる。</p> <p>○カルタゲーム ・3人1組で行う。指導者が出したカードと同じアルファベットのカードを取る。</p> <p>○Writing Activity (WS) ・ワークシートで小文字の練習をする。</p> <p>○振り返り</p>	◎活字体の小文字の読み方を聞いたり言ったりしている。(行動観察・振り返りカード点検)
2	<p>◆アルファベットの文字クイズを出したり答えたりしている。</p> <p>○フォニックス</p> <p>○小文字の復習</p> <p>○Connecting small & big letters (WS) ・ワークシートで大文字と小文字をつなぐ。</p> <p>○Card game ・好きなアルファベットカードを5枚選び、友だちと持っているカードを尋ね合って、カードを集める。</p> <p>【Let's listen】 p.24</p>	◎アルファベットの文字について尋ねたり答えたりしている。(行動観察・振り返りカード点検)

	<ul style="list-style-type: none"> ・児童用テキスト p.24 で Let's listen の音声を聞いて、誌面にあるどの看板や表示かを考えて番号を□に記入する。 <p>○Writing Activity (WS)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートで小文字の練習をする。 <p>○振り返り</p>	
3 本 時	<p>◆相手に配慮しながら、アルファベット文字について伝え合おうとする。</p> <p>○フォニックス</p> <p>○小文字の復習</p> <p>○ABC card arranging</p> <p>【Activity 1】 p.25①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5つの表示から1つ選び、ペアになって絵に入っている文字について尋ね合い、相手の表示を考えて答える。 <p>【Activity 1】 p.22-23②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同様のルールで、p.22-23の中から1つ選び、尋ね合って答える。 <p>○Writing Activity (WS)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートで小文字の練習をする。 <p>○振り返り</p>	<p>◎相手の目を見たり表情を意識したりしながら、アルファベット文字について伝え合っている。(行動観察・振り返りカード点検)</p>
4	<p>◆身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気づき、活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。</p> <p>○フォニックス</p> <p>○小文字の復習</p> <p>○Find the words (WS)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに書かれた文字の中から、単語を見つけて○で囲む。 <p>【Activity 2】 p.25</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童用テキストの10色の中から好きな色を1つ選び、ペアになって文字について尋ね合い、相手の選んだ色は何かを考える。 <p>○Find the alphabet inside a room</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室の中から、アルファベットの活字体の小文字が使われているものを見つけ、ワークシートに写す。 <p>○振り返り</p>	<p>◎身の回りには活字体の文字で表されているものがたくさんあることに気付いている。(行動観察・振り返りカード分析)</p>

8 本時の活動計画

(1) 目標 相手に配慮しながら、アルファベット文字について伝え合おうとする。

(2) 準備 デジタル教材・・・**デ教**、児童用テキスト・・・**児テ**、絵カード・・・**絵カ**
CD・・・**CD**、ワークシート・・・**WS**、振り返りカード・・・**振カ**

(3) 本時の展開 (3/4)

時間	児童の活動 【】＝誌面化されている活動	指導者の活動 ◎評 価 (方法) ☆研究主題とのかかわり★学力向上プラン	教材
3分	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 ・めあてを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶し、気分・天気・曜日・日付・時間を聞いていく。 	
ペアの人と、自分の選んだアルファベットを伝え合おう。			
3分	○Phonics	・児童と一緒に歌う。	デ教
5分	○前回までの復習	・小文字の読み方の復習を行う。	絵カ
3分	○ABC card arranging ・ABC song を2回かけ、その間にカードを並べ、できたら立つ。	・机間巡視をし、できた児童のカードがきちんと並べてあるか確認し、苦手な児童にはヒントを出すなど声かけを行う。	CD
10分	【Activity 1】 ①回目 ・P.25 の5つの表示から1つ選び、ペアになって絵に入っている文字について尋ね合い、相手の表示を考えて答える。	☆児童一人一人が自ら意欲的に取り組めるような活動を設定し、児童同士でのかかわりをもてるように工夫する。 ★児童の発達段階を考慮した表現を用いながら、児童にとって身近なコミュニケーションの場を設定する。	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
進め方 ・5つの表示から1つ選び、ペアになる。 ・じゃんけんをして、 W : Do you have 'o'? L : Yes, I do. / No, I don't. のやり取りを行う。(じゃんけんはその都度行う。) ・相手が選んだ表示が分かったら、 Is it school? と尋ね、Yes! / No. で答える。			
10分	②回目 ・P.22-23 の表示から1つ選び、ペアになって絵に入っている文字を尋ね合う。1回目とは異なるペアで行う。	◎相手の目を見たり表情を意識したりしながら、アルファベット文字について伝え合っている。(行動観察・振り返りカード点検)	
進め方 ・①回目を参照。 ・ただし、じゃんけんをした直後のやり取りは W : How many letters? L : 6 letters. とし、表示の文字数を聞いてから尋ね合う。			

6分	Writing Activity ・ワークシートで小文字の練習をする。	・机間巡視を行い、声かけをする。	WS
4分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。 ・代表児童に振り返りを発表してもらう。	・本時のねらいに照らして児童を評価する。	振カ
1分	・挨拶をする。	・挨拶する。	

9 板書計画

